

会議概要

件 名	第4回鹿児島市文化芸術推進基本計画策定委員会
日 時	令和3年7月20日（火） 14時～15時55分
場 所	鹿児島市役所東別館9階特別中会議室
出 席 者	文化芸術推進基本計画策定委員会委員14名、事務局6名
会 次 第	1 開 会 2 議 事 （1）鹿児島市文化芸術推進基本計画素案について （2）鹿児島市文化芸術推進基本計画素案の主な関係事業について 3 その他 4 閉 会
主な意見等	<div style="text-align: right;">（○…委員、⇒…事務局）</div> <p>鹿児島市文化芸術推進基本計画素案について</p> <p>【第2章】</p> <p>「2 社会状況の変化」</p> <p>○新型コロナウイルス感染症だけでなく新しい感染症についても対応するような表現にした方がよいのではないか。</p> <p>「3 市の文化政策の現状と課題」</p> <p>○今後の課題に記載があるように、日常的に文化芸術と接点を持つ機会をさらに創出することが大切であり、本計画素案のバックグラウンドとして日常的に文化を共有していくようなスタンスを大事にしていけたらとよいと思う。</p> <p>【第3章】</p> <p>「2 基本目標」</p> <p>○伝統芸能の部会で「繋いでいく」ということで取り組んでいるため、「繋がり」という言葉を大切にしたい。</p> <p>○説明部分は、分かりやすく箇条書きにしたらよいと思う。</p> <p>○アートがまちを変えるというよりも、アートに接した人がまちを変えるのであって、自分らしく生きる力や自己肯定感、生きる居場所を一人一人に届けることで人をエンパワーメントし、それがまちづくりに繋がるため、そういうことを入れてほしい。</p> <p>○「文化芸術の力」という言葉が印象的で、文化芸術の力が人を変えてまちを変えていくという文言がよいと思う。</p> <p>○魅力的な人、豊かなまちというのは、連携・協働があって膨らんでいくものであるもので、案4にあるように、つながってまちが大きくなっていくようなものがよい。</p> <p>○心の豊かさや潤いといった言葉が多いため、文化薫る「豊かな」かごしまとしたらよいと思う。</p> <p>○文化薫るという言葉があるが、身近な暮らし、日常の中に文化があるような言葉がよいと思う。</p> <p>「4 施策の展開」</p> <p>○「基本方針1」(1)の質の高い文化芸術を鑑賞する機会の提供について、鹿児島市からは地理的に県外に鑑賞しに行くのは難しいため、「第1線で活躍する芸術家の招聘」という言葉を入れてほしい。</p> <p>⇒ご意見については具体的な事業の実施にあたり参考にさせていただきたい。</p> <p>○「基本方針1」(2)の文化施設におけるバリアフリー化の促進について、バリアフリー化にはハード面だけでなくソフト面の取組もある。文化を通して全ての市民が優しくなれる文化政策であってほしい。庁内でも文化を軸に関係部署が連携して取り組んでほしい。</p>

- 「基本方針3」(1)の文化芸術を担う人材の育成のところにある中間支援組織とはどのような組織か。
⇒行政と市民の間を繋ぐような組織であり、今のところ具体的にはないものである。
- 「基本方針3」(1)の「作品の解説及び学びを促す専門家」とはエドゥケーターのことと思うが、「文化的学びを促す専門家」としてほしい。
- 「基本方針3」(2)の子ども・若者の文化芸術体験の促進と創造性の涵養について、もう少し厚みがあっていいかなと思う。若者にとってこれから困難な時代にどうにか切り拓いていかなければいけない、それには創造力、ビジネスでもアート思考というものが必要であったりするため、新しい価値を創る人材育成ということも視野に入れてほしい。
- 「基本方針5」(1)の観光分野の情報発信についても届けることが大切であり、「基本方針1」(3)で「市民に届くよう」と表現してあるのと同じように「魅力を発信して情報を届ける」としたらよいのではないか。
- 「基本方針5」にあるように、地域伝統芸能を含めて文化芸術にまちづくりという視点で取り組むということは大切である。

「5 成果指標」

- 目標値について、目指せるものであれば目標値を上げるべきであり、どのような目標を目指して数値を設定するのかという議論が必要ではないか。
- 成果指標は今後変更が可能なものか。
⇒本委員会において策定作業を進める中で協議していくものになる。

【第4章】

「3 計画の進行管理、評価」

- 計画推進にあたっては評価が一番大事であり、マネジメントの基本であるPDCAサイクルについて敢えて記載しなくてもよいと思う。外部評価と内部評価の在り方というのをもう少し記載してはどうか。